

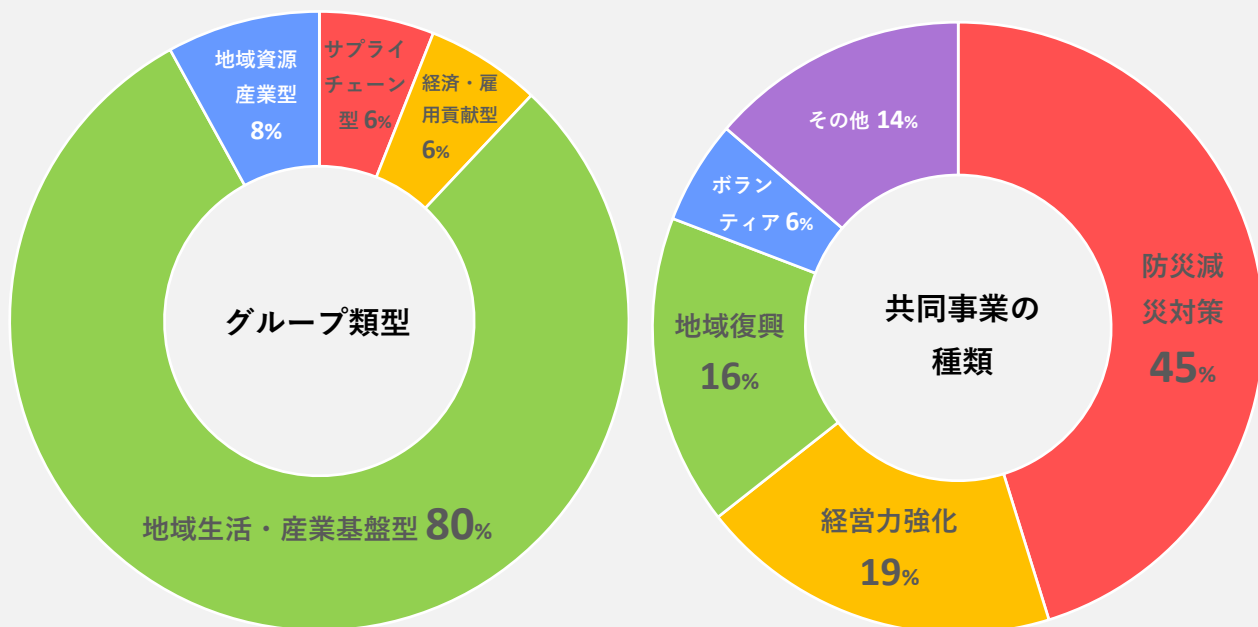
令和元年台風19号等グループ補助金

I アンケートの概要

- 実施内容：令和元年台風19号等グループ補助金で認定されたグループ（全50グループ）の代表者宛てに、令和5年9月1日時点での共同事業の実施状況調査を行った。50グループ全てから回答があり、その結果についてとりまとめた。
- 目的：共同事業の実施状況とその成果を確認するため。
- 対象者：第1次（令和2年1月）～第11次（令和2年12月）において認定されたグループ（50グループ）

II グループ類型

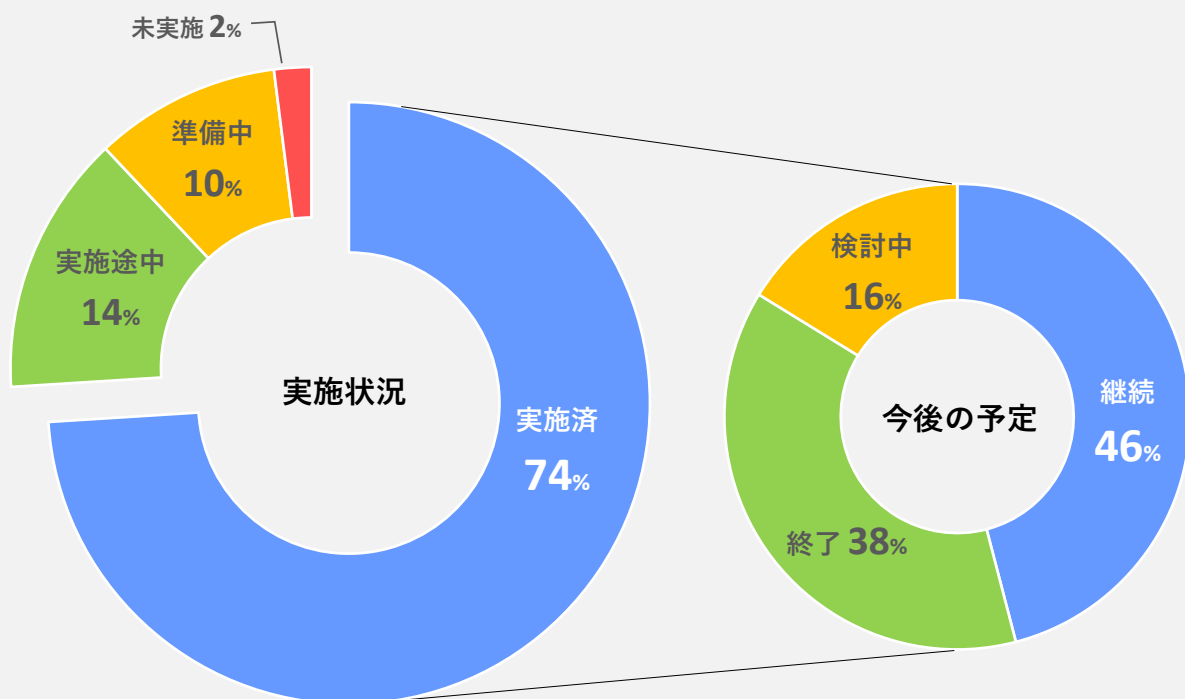
- グループ類型としては、地域生活・産業基盤型が80%と最も多く占めており、地域単位で復旧復興に取り組もうとしている事業者が多い。
- 共同事業の内容としては、防災・減災に関するものが45%、販路拡大や新商品開発等の自社経営力の強化に関するものが19%、イベント等を実施することで地域復興に取り組むものが16%、地域清掃活動等のボランティア活動に取り組むものが6%と続いたほか、その他にも環境保護を啓発するイベントを実施するものや、地域の医療連携体制を構築する共同事業があった。



グループ類型	グループ数	共同事業の内容					合計
		防災減災対策	経営力強化	地域復興	ボランティア	その他	
サプライチェーン型	3	2	1	0	0	0	3
経済・雇用貢献型	3	2	1	1	0	0	4
地域生活・産業基盤型	40	28	10	8	4	10	60
地域資源産業型	4	1	2	3	0	0	6
商店街型	0	0	0	0	0	0	0
合計	50	33	14	12	4	10	73

III 共同事業の実施状況

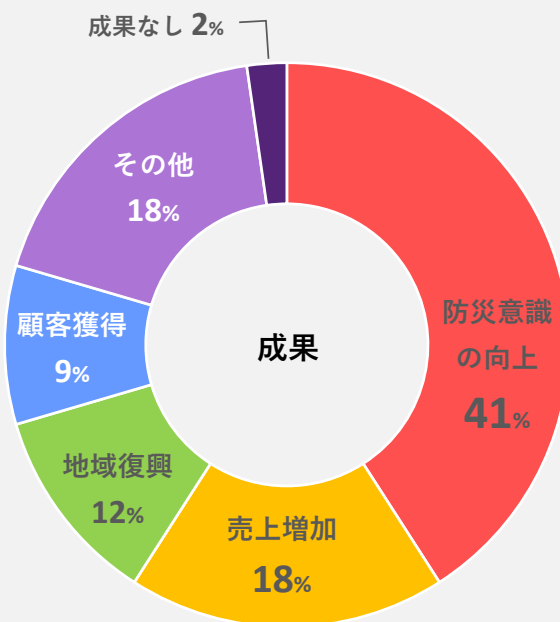
- グループ共同事業は88%が実施（内実施途中14%）、12%が未着手（内準備中10%、未実施2%）との回答があった。
- 実施済の事業者の内、今後の共同事業の実施予定について46%が継続、38%が終了、16%が検討中と回答した。一方終了・検討中と回答したグループのうち9件については、BCPの策定を実施しているが、全ての構成員が策定を終えておらず事業の継続が必要であることから、引き続き継続的な実施を指導していく。
- またここ数年のコロナ禍により共同事業を実施出来ていないグループが1グループあるが、このグループについても共同事業の実施を指導していく。



実施状況	実施済			実施途中	準備中	未実施	合計
	継続	終了	検討中				
サプライチェーン型	2	0	0	0	1	0	3
経済・雇用貢献型	1	2	0	0	0	0	3
地域生活・産業基盤型	11	11	6	7	4	1	40
地域資源産業型	3	1	0	0	0	0	4
商店街型	0	0	0	0	0	0	0
合計	17	14	6	7	5	1	50

IV 共同事業の成果

●共同事業の実施状況について実施済・実施途中と回答した44事業者の内、98%は成果があったと回答した。具体的な成果の内容としては、防災意識の向上41%、売上増加18%、地域復興12%、顧客獲得9%となっており、共同事業の成果を確認することが出来た。また成果なしと回答したグループについては、共同事業が実施が確認出来ないことから、今後改めて実施することを指導する。



～成果例～

- セミナーに参加し、BCPの策定を行った（防災意識の向上）
- 医療機関等へ提供するクリーニングなど、災害時でも停滞することが出来ない業務について、グループ間で代行する制度を構築中（契約書等を作成しているものの、未締結）（防災意識の向上）
- 構成員店舗で期間限定デカ盛りメニューを売り出した。平均来客数、売上ともに約10%増となった（売上増加）
- 自治体の観光事業に参加・協力することで、地域の賑わいを創出し、台風19号による風評被害を払拭することに貢献した（地域復興）
- 新しいWeb販促ツールを活用することで、多くの事業者へ技術PR出来ただけでなく、実際にプロジェクトとして採択まで行うものも出た（顧客獲得）
- 市の中核病院に地域医療連携室、各医療施設には医療連携担当を設置することで、連携体制を構築することが出来た（その他）

グループ類型	防災意識の向上	売上増加	地域復興	顧客獲得	その他	成果なし	合計
サプライチェーン型	1	0	0	1	0	0	2
経済・雇用貢献型	1	1	1	0	0	0	3
地域生活・産業基盤型	16	6	1	3	8	1	35
地域資源産業型	0	1	3	0	0	0	4
商店街型	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	8	5	4	8	1	44

V 総評

● 共同事業の内容を5つの基準の4段階で評価を行った。

5つの基準

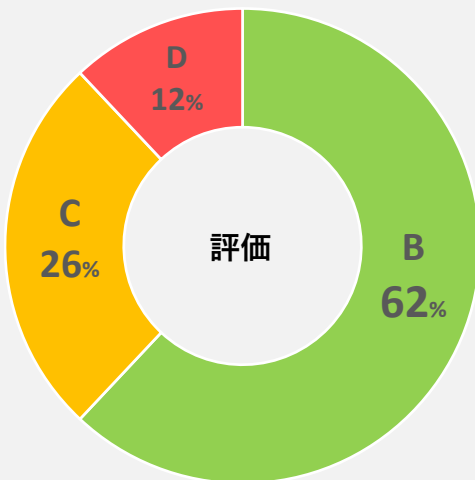
- ①売上回復 (売上増加に繋がった…5点、売上回復出来た…3点、売上回復出来なかった…1点)
- ②影響力 (影響が大きかった…5点、影響があった…3点、影響が小さかった…1点)
- ③実施率 (実施済…5点、実施途中…3点、未実施…1点)
- ④構成員の参加率 (全員実施…5点、一部実施…3点、未実施…1点)
- ⑤事業の新規性 (新規事業…5点、既存事業の延長上…3点、既存事業…1点)

4段階の評価

- A…20点以上
- B…15点以上
- C…10点以上
- D…9点以下 or 事業未実施の場合

● 評価としては、Bが62%、Cが26%、Dが12%という結果となった。Aがない理由としては、共同事業の実施が地域の復興に繋がるものの、グループ構成員の直接の売上には繋がらなかったことがあげられる。

● 共同事業はグループ補助金の申請に必須の取組であるので、今後も継続的に取り組むこと、特に未実施のグループについては、実施するよう指導していく。



グループ類型	評価				合計
	A	B	C	D	
サプライチェーン型	0	2	0	1	3
経済・雇用貢献型	0	3	0	0	3
地域生活・産業基盤型	0	22	13	5	40
地域資源産業型	0	4	0	0	4
商店街型	0	0	0	0	0
合計	0	31	13	6	50